

# 春から夏、動物園は花ざかり

園内には、ソメイヨシノやおオシマザクラなど約145本のサクラがあり、見頃のシーズンはとても華やかになります。5月頃にはツツジが咲き、梅雨に入れば、アジサイが花開きます。京都の森の木々も葉を生き茂らせ、心地良い緑陰を作り出します。



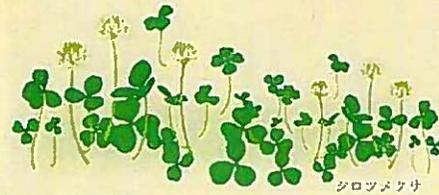
ヤギ

梅(ウメ)



キバタン

ヨキバ



シロツメクサ



ナツツバキ

ガクアジサイ ヌエクサ

## 京都の森

京都の森では、小さな田んぼで「動物園米」を育てています。

春は早くレンゲは、田んぼにとって重要な植物です。レンゲは虫に餌植物という性質を共生させて、栄養をとり出します。そのレンゲを田んぼに混ぜ込むと、緑肥と呼ばれる肥料になり、豊かな土を作ります。



春

夏になると、田んぼはすくすくと成長します。穂が出る前の青々とした田んぼを「青田」と言い、夏の季節にもなっています。田んぼには琵琶湖の水を引いており、そこではホタルの幼虫も育てています。



夏



- サクラ
- ソメイヨシノ
- おオシマザクラ
- ツツジ
- アジサイ
- サルスベリ
- ナツツバキ
- ユキヤナギ
- ヒラドツツジ
- エゴノキ
- ヤマボウシ

## 緑の取り組み

### 屋上菜園

ゴリラのおうちの屋上には小さな菜園があり、ゴリラたちに旬野菜を食べてもらうため、ゴリラの大好きな落花生やトウモロコシなど、色々な種類を育てています。



トウモロコシを食べているゴリラ (ニルゴリラ)

### グリーンカーテン

夏の暑い日差しを和らげるため、動物舎のまわりにヘチマやゴーヤを植えて、緑陰づくりをしています。ソウの葉を肥料として活用するほか、できた実は動物たちの餌にもなります。



ヘチマ

## 京都市動物園 植物の見頃カレンダー

3月	4月	5月	6月	7月	8月
サクラ					
ユキヤナギ					
	ヒラドツツジ				
		アジサイ			
			ナツツバキ		
					サルスベリ

## 季節の花

**ソメイヨシノ** [バラ科]  
 一般的なサクラの品種で、おオシマザクラとエドヒガンという品種をかけ合わせて作られました。

**ユキヤナギ** [バラ科]  
 飛べないヨシノに似て、小さな白い花を咲かせる樹木ですが、雪が積もったように見えることから名前がつけられました。

**ヒラドツツジ** [ツツジ科]  
 若に大きな花を咲かせるツツジです。花の中央へと集まる雄蕊は、花柄を逆さまに宙の垣面知らせています。

**エゴノキ** [エゴノキ科]  
 筒筒状の白い花を咲かせます。昔は花を乾燥して石鹸として使用したことから、別名「シャボン草」とも呼ばれています。

**ヤマボウシ** [ミズキ科]  
 花の形が白い雲を被ったお坊さんのようだというので、「山法師」と名前がつけられました。

**アジサイ** [アジサイ科]  
 花の色がよく変わるため「変化」とも呼ばれます。花びらのような部分は「花弁」と呼ばれ、花柄や葉をもちまわります。

**ナツツバキ** [ツバキ科]  
 花の形がツバキに似ていて、夏に開花するところからその名前がつけられました。白い可憐な花を咲かせます。

**サルスベリ** [ミソハギ科]  
 白、紅、ピンクなどの花色があります。サルスベリと呼ばれるように、花びらが薄く、花柄が赤いのが特徴です。

